

1. 次の 4 点 が 同 じ 平 面 上 に あ る よ う に, x の 値 を 定 め よ。
A (1, 1, 0), B(3, 4, 5), C(1, 3, 6), P(4, 5, x)

2. 平 行 六 面 体 ABCD－EFGH に お い て, 辺 BF を 2 : 1 に 内 分 す る 点 を P, 辺 FG を 2 : 1 に 内 分 す る 点 を Q, 辺 DH の 中 点 を R と す る。4 点 A, P, Q, R は 同 じ 平 面 上 に あ る こ と を 示 せ。

3. 四 面 体 OABC を 考 え る。辺 OA の 中 点 を P と す る。ま た 辺 OB を 2 : 1 に 内 分 す る 点 を Q と し て, 辺 OC を 3 : 1 に 内 分 す る 点 を R と す る。更 に 三 角 形 ABC の 重 心 を G と す る。

3 点 P, Q, R を 通 る 平 面 と 直 線 OG の 交 点 を K と す る と き, \overrightarrow{OK} を \overrightarrow{OA} , \overrightarrow{OB} , \overrightarrow{OC} を 用 い て 表 せ。

4. 四 面 体 OABC に お い て, 線 分 OA を 2 : 1 に 内 分 す る 点 を P, 線 分 OB を 3 : 1 に 内 分 す る 点 を Q, 線 分 BC を 4 : 1 に 内 分 す る 点 を R と す る。こ の 四 面 体 を 3 点 P, Q, R を 通 る 平 面 で 切 り, こ の 平 面 が 線 分 AC と 交 わ る 点 を S と す る と き, 線 分 の 長 さ の 比 AS : SC を 求 め よ。

5. 四面体 $ABCD$ を考える。 $\triangle ABC$ と $\triangle ABD$ は正三角形であり、 AC と BD とは垂直である。
- (1) BC と AD も垂直であることを示せ。
- (2) 四面体 $ABCD$ は正四面体であることを示せ。
6. 空間において、3 点 $A(5, 0, 1)$, $B(4, 2, 0)$, $C(0, 1, 5)$ を頂点とする三角形 ABC がある。原点 $O(0, 0, 0)$ から平面 ABC に垂線を下ろし、平面 ABC との交点を H とするとき、 H の座標を求めよ。
7. 3 点 $A(1, 0, 0)$, $B(0, 2, 0)$, $C(0, 0, 3)$ を通る平面を α とし、原点 O から平面 α に下ろした垂線の足を H とする。次のものを求めよ。
- (1) $\triangle ABC$ の面積
- (2) 線分 OH の長さ

8. 各辺の長さが1の正四面体PABCにおいて、Aから平面PBCに下ろした垂線の足をHとし、 $\overrightarrow{PA}=\vec{a}$, $\overrightarrow{PB}=\vec{b}$, $\overrightarrow{PC}=\vec{c}$ とする。
(1) 内積 $\vec{a}\cdot\vec{b}$, $\vec{a}\cdot\vec{c}$, $\vec{b}\cdot\vec{c}$ を求めよ。
(2) \overrightarrow{PH} を \vec{b} と \vec{c} を用いて表せ。
(3) 正四面体PABCの体積を求めよ。
9. 辺の長さが1である正四面体ABCDがある。線分ABを $t:(1-t)$ に内分する点をEとし、線分ACを $(1-t):t$ に内分する点をFとする($0\leq t\leq 1$, ただし $t=0$ のときE=A, F=C, $t=1$ のときE=B, F=Aとする)。 $\angle EDF$ を θ とするととき
(1) $\cos\theta$ を t で表せ。
(2) $\cos\theta$ の最大値と最小値を求めよ。
10. 四面体OABCは、OA=4, OB=5, OC=3, $\angle AOB=90^\circ$, $\angle AOC=\angle BOC=60^\circ$ を満たしている。
(1) 点Cから△OABに下ろした垂線と△OABとの交点をHとする。ベクトル \overrightarrow{CH} を \overrightarrow{OA} , \overrightarrow{OB} , \overrightarrow{OC} を用いて表せ。
(2) 四面体OABCの体積を求めよ。

1. 次の4点が同じ平面上にあるように、 x の値を定めよ。

$A(1, 1, 0), B(3, 4, 5), C(1, 3, 6), P(4, 5, x)$

解答 $x=6$

解説

[解答1] $\overrightarrow{AP}=(3, 4, x), \overrightarrow{AB}=(2, 3, 5), \overrightarrow{AC}=(0, 2, 6)$

3点A, B, Cは一直線上にないから、点Pが平面ABC上にあるための条件は、

$\overrightarrow{AP}=s\overrightarrow{AB}+t\overrightarrow{AC}$ となる実数 s, t があることである。

よって $(3, 4, x)=s(2, 3, 5)+t(0, 2, 6)$

すなわち $(3, 4, x)=(2s, 3s+2t, 5s+6t)$

ゆえに $2s=3, 3s+2t=4, 5s+6t=x$

よって $s=\frac{3}{2}, t=-\frac{1}{4}$ したがって $x=6$

[解答2] 3点A, B, Cは一直線上にないから、原点をOとすると、点Pが平面ABC

上にあるための条件は、 $\overrightarrow{OP}=s\overrightarrow{OA}+t\overrightarrow{OB}+u\overrightarrow{OC}$, $s+t+u=1$ となる実数 s, t, u があることである。

よって $(4, 5, x)=s(1, 1, 0)+t(3, 4, 5)+u(1, 3, 6)$

すなわち $(4, 5, x)=(s+3t+u, s+4t+3u, 5t+6u)$

ゆえに $s+3t+u=4, s+4t+3u=5, 5t+6u=x$

また $s+t+u=1$

これらを解くと $s=-\frac{1}{4}, t=\frac{3}{2}, u=-\frac{1}{4}$

したがって $x=5\cdot\frac{3}{2}+6\cdot\left(-\frac{1}{4}\right)=6$

[別解] 3点A, B, Cを通る平面の方程式を求めると $2x-3y+z+1=0$

この平面上に点Pがあるための条件は $2\cdot4-3\cdot5+x+1=0$

よって $x=6$

2. 平行六面体ABCD-EFGHにおいて、辺BFを2:1に内分する点をP、辺FGを2:1に内分する点をQ、辺DHの中点をRとする。4点A, P, Q, Rは同じ平面上にあることを示せ。

解答 略

解説

点Rが3点A, P, Qの定める平面上にあるための条件は、 $\overrightarrow{AR}=s\overrightarrow{AP}+t\overrightarrow{AQ}$ となる実数 s, t が存在することである。

$\overrightarrow{AB}=\vec{a}, \overrightarrow{AD}=\vec{b}, \overrightarrow{AE}=\vec{c}$ とすると

$\overrightarrow{AP}=\overrightarrow{AB}+\overrightarrow{BP}=\vec{a}+\frac{2}{3}\vec{c},$

$\overrightarrow{AQ}=\overrightarrow{AB}+\overrightarrow{BF}+\overrightarrow{FQ}=\vec{a}+\vec{c}+\frac{2}{3}\vec{b},$

$\overrightarrow{AR}=\overrightarrow{AD}+\overrightarrow{DR}=\vec{b}+\frac{1}{2}\vec{c}$

$\overrightarrow{AR}=s\overrightarrow{AP}+t\overrightarrow{AQ}$ とすると

$\vec{b}+\frac{1}{2}\vec{c}=s\left(\vec{a}+\frac{2}{3}\vec{c}\right)+t\left(\vec{a}+\frac{2}{3}\vec{b}+\vec{c}\right)$

よって $\vec{b}+\frac{1}{2}\vec{c}=(s+t)\vec{a}+\frac{2}{3}t\vec{b}+\left(\frac{2}{3}s+t\right)\vec{c}$

4点A, B, D, Eは同じ平面上にないから

$0=s+t \dots\dots ①, 1=\frac{2}{3}t \dots\dots ②, \frac{1}{2}=\frac{2}{3}s+t \dots\dots ③$

①, ② から $s=-\frac{3}{2}, t=\frac{3}{2}$ これは③を満たす。

ゆえに、 $\overrightarrow{AR}=s\overrightarrow{AP}+t\overrightarrow{AQ}$ となる実数 s, t が存在するから、4点A, P, Q, Rは同じ平面上にある。

3. 四面体OABCを考える。辺OAの中点をPとする。また辺OBを2:1に内分する点をQとして、辺OCを3:1に内分する点をRとする。更に三角形ABCの重心をGとする。

3点P, Q, Rを通る平面と直線OGの交点をKとするとき、 \overrightarrow{OK} を $\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB}, \overrightarrow{OC}$ を用いて表せ。

解答 $\overrightarrow{OK}=\frac{6}{29}\overrightarrow{OA}+\frac{6}{29}\overrightarrow{OB}+\frac{6}{29}\overrightarrow{OC}$

解説

点Kは3点P, Q, Rを通る平面上にあるから、実数 s, t, u を用いて

$\overrightarrow{OK}=s\overrightarrow{OP}+t\overrightarrow{OQ}+u\overrightarrow{OR}, s+t+u=1$

と表される。

ここで、 $\overrightarrow{OP}=\frac{1}{2}\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OQ}=\frac{2}{3}\overrightarrow{OB}, \overrightarrow{OR}=\frac{3}{4}\overrightarrow{OC}$ で

あるから

$\overrightarrow{OK}=\frac{s}{2}\overrightarrow{OA}+\frac{2}{3}t\overrightarrow{OB}+\frac{3}{4}u\overrightarrow{OC} \dots\dots ①$

また、点Kは直線OG上にあるから、 $\overrightarrow{OK}=k\overrightarrow{OG}$ (k は実数)と表される。

よって $\overrightarrow{OK}=k\left(\frac{\overrightarrow{OA}+\overrightarrow{OB}+\overrightarrow{OC}}{3}\right)$

$=\frac{k}{3}\overrightarrow{OA}+\frac{k}{3}\overrightarrow{OB}+\frac{k}{3}\overrightarrow{OC} \dots\dots ②$

4点O, A, B, Cは同じ平面上にないから、①, ②より

$\frac{s}{2}=\frac{k}{3}, \frac{2}{3}t=\frac{k}{3}, \frac{3}{4}u=\frac{k}{3}$

ゆえに $s=\frac{2}{3}k, t=\frac{k}{2}, u=\frac{4}{9}k$

これらを $s+t+u=1$ に代入して $\frac{2}{3}k+\frac{k}{2}+\frac{4}{9}k=1$

よって $k=\frac{18}{29}$

これを②に代入して $\overrightarrow{OK}=\frac{6}{29}\overrightarrow{OA}+\frac{6}{29}\overrightarrow{OB}+\frac{6}{29}\overrightarrow{OC}$

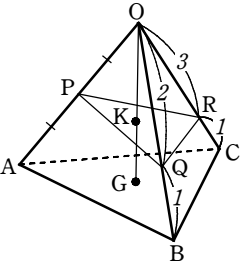
[別解] 点Kは直線OG上にあるから、 $\overrightarrow{OK}=k\overrightarrow{OG}$ (k は実数)と表される。

よって $\overrightarrow{OK}=k\left(\frac{\overrightarrow{OA}+\overrightarrow{OB}+\overrightarrow{OC}}{3}\right)$

$=\frac{k}{3}\overrightarrow{OA}+\frac{k}{3}\overrightarrow{OB}+\frac{k}{3}\overrightarrow{OC} \dots\dots(※)$

ここで、 $\overrightarrow{OP}=\frac{1}{2}\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OQ}=\frac{2}{3}\overrightarrow{OB}, \overrightarrow{OR}=\frac{3}{4}\overrightarrow{OC}$ であるから

$\overrightarrow{OA}=2\overrightarrow{OP}, \overrightarrow{OB}=\frac{3}{2}\overrightarrow{OQ}, \overrightarrow{OC}=\frac{4}{3}\overrightarrow{OR}$



ゆえに $\overrightarrow{OK}=\frac{2}{3}k\overrightarrow{OP}+\frac{k}{2}\overrightarrow{OQ}+\frac{4}{9}k\overrightarrow{OR}$

点Kは3点P, Q, Rを通る平面上にあるから $\frac{2}{3}k+\frac{k}{2}+\frac{4}{9}k=1$

よって $k=\frac{18}{29}$

ゆえに、(※)から $\overrightarrow{OK}=\frac{6}{29}\overrightarrow{OA}+\frac{6}{29}\overrightarrow{OB}+\frac{6}{29}\overrightarrow{OC}$

4. 四面体OABCにおいて、線分OAを2:1に内分する点をP、線分OBを3:1に内分する点をQ、線分BCを4:1に内分する点をRとする。この四面体を3点P, Q, Rを通る平面で切り、この平面が線分ACと交わる点をSとするとき、線分の長さの比AS:SCを求めよ。

解答 6:1

解説

AS:SC= $k:(1-k)$ とすると

$\overrightarrow{OS}=(1-k)\overrightarrow{OA}+k\overrightarrow{OC} \dots\dots ①$

また、点Sは3点P, Q, Rを通る平面上にあるから、実数 s, t, u を用いて、

$\overrightarrow{OS}=s\overrightarrow{OP}+t\overrightarrow{OQ}+u\overrightarrow{OR}, s+t+u=1$

と表される。ここで、BR:RC=4:1であるから

$\overrightarrow{OR}=\frac{\overrightarrow{OB}+4\overrightarrow{OC}}{4+1}=\frac{1}{5}\overrightarrow{OB}+\frac{4}{5}\overrightarrow{OC}$

また、 $\overrightarrow{OP}=\frac{2}{3}\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OQ}=\frac{3}{4}\overrightarrow{OB}$ であるから

$\overrightarrow{OS}=\frac{2}{3}s\overrightarrow{OA}+\frac{3}{4}t\overrightarrow{OB}+u\left(\frac{1}{5}\overrightarrow{OB}+\frac{4}{5}\overrightarrow{OC}\right)$
 $=\frac{2}{3}s\overrightarrow{OA}+\left(\frac{3}{4}t+\frac{u}{5}\right)\overrightarrow{OB}+\frac{4}{5}u\overrightarrow{OC} \dots\dots ②$

4点O, A, B, Cは同じ平面上にないから、①, ②より

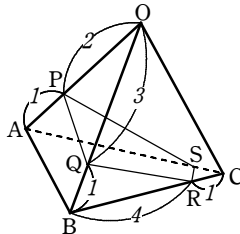
$1-k=\frac{2}{3}s, 0=\frac{3}{4}t+\frac{u}{5}, k=\frac{4}{5}u$

ゆえに $s=\frac{3}{2}-\frac{3}{2}k, t=-\frac{k}{3}, u=\frac{5}{4}k$

これらを $s+t+u=1$ に代入して $\frac{3}{2}-\frac{3}{2}k-\frac{k}{3}+\frac{5}{4}k=1$

よって $k=\frac{6}{7}$

したがって AS:SC= $\frac{6}{7}:\left(1-\frac{6}{7}\right)=6:1$



5. 四面体ABCDを考える。△ABCと△ABDは正三角形であり、ACとBDとは垂直である。

(1) BCとADも垂直であることを示せ。

(2) 四面体ABCDは正四面体であることを示せ。

解答 (1) 略 (2) 略

解説

$\overrightarrow{AB}=\vec{b}, \overrightarrow{AC}=\vec{c}, \overrightarrow{AD}=\vec{d}$ とする。

(1) $\triangle ABC$ と $\triangle ABD$ は正三角形であるから

$$|\vec{b}|=|\vec{c}|=|\vec{d}|, \quad \vec{b} \cdot \vec{c} = \vec{b} \cdot \vec{d} \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

$AC \perp BD$ から $\vec{AC} \cdot \vec{BD} = 0$

$$\text{よって} \quad \vec{c} \cdot (\vec{d} - \vec{b}) = 0$$

$$\text{ゆえに} \quad \vec{c} \cdot \vec{d} = \vec{b} \cdot \vec{c} \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

①, ② より, $\vec{c} \cdot \vec{d} = \vec{b} \cdot \vec{d}$ であるから

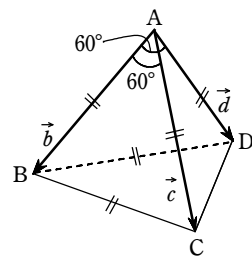
$$\vec{BC} \cdot \vec{AD} = (\vec{c} - \vec{b}) \cdot \vec{d} = \vec{c} \cdot \vec{d} - \vec{b} \cdot \vec{d} = 0$$

$\vec{BC} \nparallel \vec{0}, \vec{AD} \nparallel \vec{0}$ であるから $BC \perp AD$

$$\begin{aligned} \text{(2)} \quad |\vec{CD}|^2 &= |\vec{d} - \vec{c}|^2 = |\vec{d}|^2 - 2\vec{c} \cdot \vec{d} + |\vec{c}|^2 = |\vec{d}|^2 - 2\vec{b} \cdot \vec{c} + |\vec{c}|^2 \\ &= |\vec{d}|^2 - 2|\vec{b}||\vec{c}|\cos 60^\circ + |\vec{c}|^2 = |\vec{c}|^2 - |\vec{c}|^2 + |\vec{c}|^2 = |\vec{c}|^2 = |\vec{AC}|^2 \end{aligned}$$

よって $CD = AC$

ゆえに, 四面体 $ABCD$ のすべての辺の長さは等しいから, 四面体 $ABCD$ は正四面体である。



6. 空間において, 3点 $A(5, 0, 1)$, $B(4, 2, 0)$, $C(0, 1, 5)$ を頂点とする三角形 ABC がある。原点 $O(0, 0, 0)$ から平面 ABC に垂線を下ろし, 平面 ABC との交点を H とするとき, H の座標を求めよ。

【解答】 (2, 2, 2)

【解説】

$$\vec{AB} = (-1, 2, -1), \quad \vec{AC} = (-5, 1, 4)$$

点 H は平面 ABC 上にあるから, $\vec{AH} = s\vec{AB} + t\vec{AC}$ (s, t は実数) とおける。

$$\begin{aligned} \text{ゆえに} \quad \vec{OH} &= \vec{OA} + \vec{AH} \\ &= \vec{OA} + s\vec{AB} + t\vec{AC} \\ &= (5, 0, 1) + s(-1, 2, -1) + t(-5, 1, 4) \\ &= (5-s-5t, 2s+t, 1-s+4t) \quad \cdots \cdots \textcircled{1} \end{aligned}$$

$OH \perp (\text{平面 } ABC)$ であるから $\vec{OH} \perp \vec{AB}, \vec{OH} \perp \vec{AC}$

$$\vec{OH} \perp \vec{AB} \text{ から } \vec{OH} \cdot \vec{AB} = 0$$

$$\text{よって} \quad -(5-s-5t) + 2(2s+t) - (1-s+4t) = 0$$

$$\text{ゆえに} \quad 2s+t=2 \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

$$\vec{OH} \perp \vec{AC} \text{ から } \vec{OH} \cdot \vec{AC} = 0$$

$$\text{よって} \quad -5(5-s-5t) + 1 \cdot (2s+t) + 4(1-s+4t) = 0$$

$$\text{ゆえに} \quad s+14t=7 \quad \cdots \cdots \textcircled{3}$$

$$\textcircled{2}, \textcircled{3} \text{ を解いて} \quad s = \frac{7}{9}, \quad t = \frac{4}{9}$$

よって, ① から $H(2, 2, 2)$

7. 3点 $A(1, 0, 0)$, $B(0, 2, 0)$, $C(0, 0, 3)$ を通る平面を α とし, 原点 O から平面 α に下ろした垂線の足を H とする。次のものを求めよ。

(1) $\triangle ABC$ の面積 (2) 線分 OH の長さ

【解答】 (1) $\frac{7}{2}$ (2) $OH = \frac{6}{7}$

【解説】

$$(1) \quad \vec{AB} = (-1, 2, 0), \quad \vec{AC} = (-1, 0, 3)$$

$$\text{よって} \quad |\vec{AB}|^2 = (-1)^2 + 2^2 = 5,$$

$$|\vec{AC}|^2 = (-1)^2 + 3^2 = 10,$$

$$\vec{AB} \cdot \vec{AC} = (-1) \times (-1) + 2 \times 0 + 0 \times 3 = 1$$

$$\begin{aligned} \text{ゆえに} \quad \triangle ABC &= \frac{1}{2} \sqrt{|\vec{AB}|^2 |\vec{AC}|^2 - (\vec{AB} \cdot \vec{AC})^2} \\ &= \frac{1}{2} \sqrt{5 \times 10 - 1^2} = \frac{7}{2} \end{aligned}$$

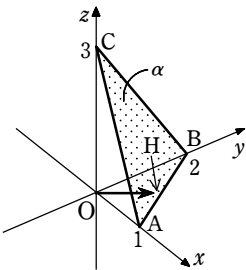
(2) 四面体 $OABC$ の体積を V とすると

$$V = \frac{1}{3} \triangle OAB \times OC = \frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times 1 \times 2 \times 3 = 1$$

また, $V = \frac{1}{3} \triangle ABC \times OH$ であるから, (1) より

$$\frac{1}{3} \times \frac{7}{2} \times OH = 1$$

$$\text{よって} \quad OH = \frac{6}{7}$$



8. 各辺の長さが1の正四面体 $PABC$ において, A から平面 PBC に下ろした垂線の足を H とし, $\vec{PA} = \vec{a}, \vec{PB} = \vec{b}, \vec{PC} = \vec{c}$ とする。

(1) 内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}, \vec{a} \cdot \vec{c}, \vec{b} \cdot \vec{c}$ を求めよ。 (2) \vec{PH} を \vec{b} と \vec{c} を用いて表せ。

(3) 正四面体 $PABC$ の体積を求めよ。

【解答】 (1) $\vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{1}{2}, \vec{a} \cdot \vec{c} = \frac{1}{2}, \vec{b} \cdot \vec{c} = \frac{1}{2}$ (2) $\vec{PH} = \frac{1}{3}\vec{b} + \frac{1}{3}\vec{c}$ (3) $\frac{\sqrt{2}}{12}$

【解説】

$$(1) \quad \vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}||\vec{b}|\cos \angle APB = 1 \times 1 \times \cos 60^\circ = \frac{1}{2}$$

$$\text{同様に} \quad \vec{a} \cdot \vec{c} = \frac{1}{2}, \quad \vec{b} \cdot \vec{c} = \frac{1}{2}$$

(2) 平面 PBC において, $\vec{b} \nparallel \vec{0}, \vec{c} \nparallel \vec{0}, \vec{b} \nparallel \vec{c}$ であるから, s, t を実数として, $\vec{PH} = s\vec{b} + t\vec{c}$ と表される。

ゆえに $\vec{AH} = \vec{PH} - \vec{PA} = s\vec{b} + t\vec{c} - \vec{a}$

$AH \perp (\text{平面 } PBC)$ であるから

$$\vec{AH} \perp \vec{PB}, \quad \vec{AH} \perp \vec{PC}$$

$$\text{よって} \quad \vec{AH} \cdot \vec{PB} = 0, \quad \vec{AH} \cdot \vec{PC} = 0$$

$$\begin{aligned} \text{ここで} \quad \vec{AH} \cdot \vec{PB} &= (-\vec{a} + s\vec{b} + t\vec{c}) \cdot \vec{b} \\ &= -\vec{a} \cdot \vec{b} + s|\vec{b}|^2 + t\vec{b} \cdot \vec{c} \\ &= -\frac{1}{2} + s + \frac{1}{2}t \end{aligned}$$

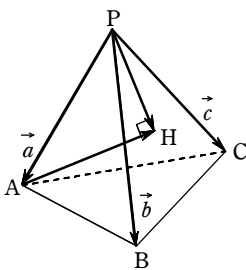
$$\begin{aligned} \vec{AH} \cdot \vec{PC} &= (-\vec{a} + s\vec{b} + t\vec{c}) \cdot \vec{c} = -\vec{a} \cdot \vec{c} + s\vec{b} \cdot \vec{c} + t|\vec{c}|^2 \\ &= -\frac{1}{2} + \frac{1}{2}s + t \end{aligned}$$

$$\text{ゆえに} \quad 2s+t-1=0, \quad s+2t-1=0 \quad \text{これを解いて} \quad s=t=\frac{1}{3}$$

$$\text{よって} \quad \vec{PH} = \frac{1}{3}\vec{b} + \frac{1}{3}\vec{c}$$

(3) 三平方の定理により

$$\begin{aligned} |\vec{AH}|^2 &= |\vec{PA}|^2 - |\vec{PH}|^2 = 1^2 - \left| \frac{1}{3}(\vec{b} + \vec{c}) \right|^2 \\ &= 1 - \frac{1}{9}(|\vec{b}|^2 + 2\vec{b} \cdot \vec{c} + |\vec{c}|^2) \\ &= 1 - \frac{1}{9}\left(1^2 + 2 \times \frac{1}{2} + 1^2\right) = \frac{2}{3} \end{aligned}$$



$$\text{ゆえに} \quad |\vec{AH}| = \frac{\sqrt{6}}{3} \quad \text{また} \quad \triangle PBC = \frac{1}{2} \times 1 \times 1 \times \sin 60^\circ = \frac{\sqrt{3}}{4}$$

したがって, 求める体積は

$$\frac{1}{3} \times \triangle PBC \times |\vec{AH}| = \frac{1}{3} \times \frac{\sqrt{3}}{4} \times \frac{\sqrt{6}}{3} = \frac{\sqrt{2}}{12}$$

9. 辺の長さが1である正四面体 $ABCD$ がある。線分 AB を $t:(1-t)$ に内分する点を E とし, 線分 AC を $(1-t):t$ に内分する点を F とする ($0 \leq t \leq 1$, ただし $t=0$ のとき $E=A, F=C, t=1$ のとき $E=B, F=A$ とする)。 $\angle EDF$ を θ とするとき

(1) $\cos \theta$ を t で表せ。 (2) $\cos \theta$ の最大値と最小値を求めよ。

【解答】 (1) $\cos \theta = \frac{-t^2+t+1}{2(t^2-t+1)}$ (2) 最大値 $\frac{5}{6}$, 最小値 $\frac{1}{2}$

【解説】

(1) $\vec{DE} = \vec{AE} - \vec{AD}, \vec{DF} = \vec{AF} - \vec{AD}$ であるから

$$\begin{aligned} |\vec{DE}|^2 &= |\vec{AE}|^2 - 2\vec{AE} \cdot \vec{AD} + |\vec{AD}|^2 \\ &= t^2 - 2 \times t \times 1 \times \cos 60^\circ + 1^2 \\ &= t^2 - t + 1 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} |\vec{DF}|^2 &= |\vec{AF}|^2 - 2\vec{AF} \cdot \vec{AD} + |\vec{AD}|^2 \\ &= (1-t)^2 - 2(1-t) \times 1 \times \cos 60^\circ + 1^2 \\ &= t^2 - t + 1 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \vec{DE} \cdot \vec{DF} &= (\vec{AE} - \vec{AD}) \cdot (\vec{AF} - \vec{AD}) \\ &= \vec{AE} \cdot \vec{AF} - \vec{AE} \cdot \vec{AD} - \vec{AD} \cdot \vec{AF} + |\vec{AD}|^2 \\ &= t(1-t)\cos 60^\circ - t \times 1 \times \cos 60^\circ - 1 \times (1-t)\cos 60^\circ + 1^2 \\ &= \frac{-t^2+t+1}{2} \end{aligned}$$

$$\text{ゆえに} \quad \cos \theta = \frac{\vec{DE} \cdot \vec{DF}}{|\vec{DE}||\vec{DF}|} = \frac{-t^2+t+1}{2(t^2-t+1)}$$

【別解】 $DE^2 = t^2 + 1 - 2t\cos 60^\circ = t^2 - t + 1$

$$DF^2 = t^2 + 1 - 2t\cos 60^\circ = t^2 - t + 1$$

$$EF^2 = t^2 + (1-t)^2 - 2t(1-t)\cos 60^\circ = 3t^2 - 3t + 1$$

$$\text{ゆえに} \quad \cos \theta = \frac{DE^2 + DF^2 - EF^2}{2DE \times DF} = \frac{-t^2+t+1}{2(t^2-t+1)}$$

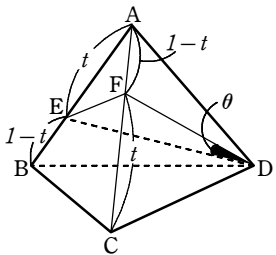
$$\begin{aligned} \text{(2) (1) から} \quad \cos \theta &= \frac{-t^2+t+1}{2(t^2-t+1)} = \frac{1}{2} \times \frac{-(t^2-t+1)+2}{t^2-t+1} \\ &= \frac{1}{2} \left(-1 + \frac{2}{t^2-t+1} \right) \end{aligned}$$

$$\text{ここで, } f(t) = t^2 - t + 1 \text{ とすると} \quad f(t) = \left(t - \frac{1}{2} \right)^2 + \frac{3}{4}$$

$$0 \leq t \leq 1 \text{ のとき, } \frac{3}{4} \leq f(t) \leq 1 \text{ であり} \quad \cos \theta = \frac{1}{2} \left\{ -1 + \frac{2}{f(t)} \right\}$$

$$\text{よって, } f(t) \text{ が最小値 } \frac{3}{4} \text{ をとるとき } \cos \theta \text{ は最大値 } \frac{1}{2} \left(-1 + 2 \times \frac{4}{3} \right) = \frac{5}{6} \text{ をとり,}$$

$$f(t) \text{ が最大値 } 1 \text{ をとるとき } \cos \theta \text{ は最小値 } \frac{1}{2}(-1+2) = \frac{1}{2} \text{ をとる。}$$



10. 四面体 $OABC$ は, $OA=4, OB=5, OC=3, \angle AOB=90^\circ, \angle AOC=\angle BOC=60^\circ$ を満たしている。

(1) 点 C から $\triangle OAB$ に下ろした垂線と $\triangle OAB$ との交点を H とする。ベクトル \vec{CH} を

$\overrightarrow{\text{OA}}, \overrightarrow{\text{OB}}, \overrightarrow{\text{OC}}$ を用いて表せ。

(2) 四面体 OABC の体積を求めよ。

解答 (1) $\overrightarrow{\text{CH}} = \frac{3}{8}\overrightarrow{\text{OA}} + \frac{3}{10}\overrightarrow{\text{OB}} - \overrightarrow{\text{OC}}$ (2) $5\sqrt{2}$

解説

(1) $\angle\text{AOB} = 90^\circ$ から $\overrightarrow{\text{OA}} \cdot \overrightarrow{\text{OB}} = 0$

また $\overrightarrow{\text{OB}} \cdot \overrightarrow{\text{OC}} = 5 \cdot 3 \cos 60^\circ = \frac{15}{2}, \quad \overrightarrow{\text{OC}} \cdot \overrightarrow{\text{OA}} = 3 \cdot 4 \cos 60^\circ = 6$

点 H は平面 OAB 上にあるから, $\overrightarrow{\text{OH}} = s\overrightarrow{\text{OA}} + t\overrightarrow{\text{OB}}$ (s, t は実数) と表される。

よって $\overrightarrow{\text{CH}} = \overrightarrow{\text{OH}} - \overrightarrow{\text{OC}} = s\overrightarrow{\text{OA}} + t\overrightarrow{\text{OB}} - \overrightarrow{\text{OC}}$

$\overrightarrow{\text{CH}}$ は平面 OAB に垂直であるから $\overrightarrow{\text{CH}} \perp \overrightarrow{\text{OA}}, \overrightarrow{\text{CH}} \perp \overrightarrow{\text{OB}}$

ゆえに, $\overrightarrow{\text{CH}} \cdot \overrightarrow{\text{OA}} = 0, \overrightarrow{\text{CH}} \cdot \overrightarrow{\text{OB}} = 0$ であるから

$$(s\overrightarrow{\text{OA}} + t\overrightarrow{\text{OB}} - \overrightarrow{\text{OC}}) \cdot \overrightarrow{\text{OA}} = 0, \quad (s\overrightarrow{\text{OA}} + t\overrightarrow{\text{OB}} - \overrightarrow{\text{OC}}) \cdot \overrightarrow{\text{OB}} = 0$$

よって $s \cdot 4^2 + t \cdot 0 - 6 = 0, \quad s \cdot 0 + t \cdot 5^2 - \frac{15}{2} = 0$

すなわち $16s - 6 = 0, \quad 25t - \frac{15}{2} = 0$

これを解いて $s = \frac{3}{8}, \quad t = \frac{3}{10}$

したがって $\overrightarrow{\text{CH}} = \frac{3}{8}\overrightarrow{\text{OA}} + \frac{3}{10}\overrightarrow{\text{OB}} - \overrightarrow{\text{OC}}$

(2) $\triangle\text{OAB} = \frac{1}{2}\text{OA} \cdot \text{OB} = \frac{1}{2} \cdot 4 \cdot 5 = 10$

また
$$\begin{aligned} |\overrightarrow{\text{CH}}|^2 &= \left| \frac{3}{8}\overrightarrow{\text{OA}} + \frac{3}{10}\overrightarrow{\text{OB}} - \overrightarrow{\text{OC}} \right|^2 \\ &= \frac{9}{64}|\overrightarrow{\text{OA}}|^2 + \frac{9}{100}|\overrightarrow{\text{OB}}|^2 + |\overrightarrow{\text{OC}}|^2 \\ &\quad + \frac{9}{40}\overrightarrow{\text{OA}} \cdot \overrightarrow{\text{OB}} - \frac{3}{5}\overrightarrow{\text{OB}} \cdot \overrightarrow{\text{OC}} - \frac{3}{4}\overrightarrow{\text{OC}} \cdot \overrightarrow{\text{OA}} \\ &= \frac{9}{64} \cdot 16 + \frac{9}{100} \cdot 25 + 9 + 0 - \frac{3}{5} \cdot \frac{15}{2} - \frac{3}{4} \cdot 6 \\ &= \frac{9}{4} + \frac{9}{4} + 9 - \frac{9}{2} - \frac{9}{2} = \frac{9}{2} \end{aligned}$$

$|\overrightarrow{\text{CH}}| > 0$ であるから $|\overrightarrow{\text{CH}}| = \sqrt{\frac{9}{2}} = \frac{3\sqrt{2}}{2}$

よって, 四面体 OABC の体積は $\frac{1}{3} \cdot \triangle\text{OAB} \cdot \text{CH} = \frac{1}{3} \cdot 10 \cdot \frac{3\sqrt{2}}{2} = 5\sqrt{2}$